

都市再生整備計画

かわべえきしゅうへんちく
川部駅周辺地区

あおもりけん いなかだてむら
青森県 田舎館村

令和5年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	青森県	市町村名	田舎館村	地区名	川部駅周辺地区	面積	38.7	ha
計画期間	令和5年度	～	令和9年度	交付期間	令和5年度	～	令和9年度	

<p>目標</p> <p>大目標:市街地の密度低下を防ぐ人口減少対策の推進 目標1:生活を支える機能を川部駅周辺にコンパクトに集約し、賑わいのある魅力的な拠点を形成する 目標2:快適で安全に住み続けられる居住空間を形成し、市街地の人口密度維持を目指す</p>
<p>目標設定の根拠</p> <p>都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ・本村には、浅瀬石川左岸の「田舎館市街地」と右岸の「川部市街地」が形成され、それぞれ約56ha、約87haが市街化区域となっている。前者は県道の結節点に形成された古くからの町割りを残す住宅地を主とした中心市街地で、村役場等の公共公益施設が立地している。後者はJR川部駅周辺に形成された市街地であり、昭和60年に土地区画整理事業が施行され、区画内の空地は少ないが、人口減少に伴い新築件数が緩やかに減少している。 ・田舎館村立地適正化計画では、「田舎館市街地」の村役場周辺を行政拠点に位置付け、合築整備された中央公民館・村民体育館、児童館などにより、文化・スポーツ活動、子育て支援サービスの充実を図り、暮らしやすいむらづくりの中心として拠点機能向上を図ることとしている。また、「川部市街地」の川部駅周辺を都市(商業)拠点に位置付け、駅西側の土地区画整理事業区域や駅東側の操車場跡地に人口を誘導していく観点から、魅力的な市街地の形成に資する都市機能の誘導を図ることとしている。特に操車場跡地の活用は村にとっての長年の懸案であり、この土地を利用して、川部駅を中心とした住みよい居住環境と賑わいと交流の創出を図るものである。</p> <p>まちづくりの経緯及び現況 ・本村では、昭和40年代から平成初期にかけ、田舎館村工業団地や道の駅いなかだて「弥生の里」の整備、川部駅西側の土地区画整理事業が実施されており、また、平成5年からは稲作という従来の村の産業を活かした「田んぼアート」を開始し、村民一丸となった手作りの観光業の振興にも取り組んでいる。 ・「第5次田舎館村総合振興計画」(平成23年3月)において、「若者が住みたくなるむらづくり」を基本理念として掲げ、これを受けて策定された「田舎館村都市マスタープラン」(平成23年3月)では川部駅周辺を住宅市街地エリアに位置づけ、「藤崎尾上線(都市計画道路3・4・12)の効率的な整備」、「交流、憩いの場となる公園の維持・保全」及び「各種公益的施設の機能維持」に取り組んできた。 ・また、「田舎館村立地適正化計画」(令和4年12月)では川部駅周辺を都市(商業)拠点と位置づけ、誘導区域を設定し居住と都市機能の誘導を図る計画としている。 ・川部駅周辺地区はJR奥羽本線・五能線の川部駅を中心とする地区であるが、当駅は改札が西口に限定されており東西が分断されている。 ・当駅西側には近隣商業地域が指定されているものの立地商業施設は少なく、駅東側は昭和61年の貨物扱い廃止の影響により、操車場跡地及び隣接地(約1.6ha)が村保有の未利用地となっている。 ・操車場跡地の有効活用を図るため策定した「川部駅操車場跡地開発基本計画」(令和3年8月)では、住宅地の形成、東側からの駅アクセス性向上、駅利用者及び地域住民の憩いや交流を促すための公園空間の導入を方向づけており、このうち住宅地の形成については民間事業者による宅地開発事業の検討が進められ、機運が高まっている。 ・川部駅周辺地区の住民意向として、「道路・公共交通の整備」に関して不満が高く(川部駅周辺地区:61.1%、村:33.7%)、「愛着」(川部駅周辺地区:70.4%、村:83.9%)「住みよさ」(川部駅周辺地区:87.0%、村:87.4%)「居住意向」(川部駅周辺地区:77.8%、村:83.7%)について全村に比べ低い傾向となっている。</p> <p>課題 ・現在の川部駅改札が西口に限定されているため、鉄道東西の歩行者連携と鉄道利用の利便性を高めていくことが求められている。 ・川部駅東側の操車場跡地における宅地開発計画に対応した、良好な居住環境の創出が求められている。 ・商業拠点に相応しい環境整備と機能立地を誘導していくことが求められている。</p> <p>将来ビジョン(中長期) ①第6次田舎館村総合振興計画(令和3年度～令和12年度)(令和3年3月策定) ・3つのむらづくりの基本理念の中で、都市の機能育成に関して「若者が住みたくなるむらづくり」として、若い世代の移住だけでなく、定住の観点からもむらづくりを進めるとしている。 ②田舎館村都市計画マスタープラン(平成23年度～平成42年度)(平成23年3月策定) □土地利用 ・川部駅東側の住宅地:住宅と店舗併用住宅が共存する良好な市街地づくり ・川部駅西側の住宅地:閑静な住宅地として生活環境の向上 ・川部駅西側の商業地:地域住民の日常生活を支える機能を集約し本村での暮らしの実情にあったサービスを提供できる商業地づくり、誰もが安心して歩いて買い物ができるように歩道などのバリアフリーによる十分な歩行空間の確保に配慮した商店街づくり □都市施設 ・川部駅周辺の駐車場・駐輪場の確保による鉄道利用の利便性の向上や、誰もが安全安心に利用できる施設の整備・改善等について、関係機関と連携しながら検討を進める ・地域住民の交流、憩いの場となる公園の維持・保全に努める ③田舎館村立地適正化計画(令和2年～令和22年)(令和4年12月策定) ・浅瀬石川北側の川部駅周辺を都市(商業)拠点、浅瀬石川南側の村役場周辺を行政拠点に位置付け、各拠点の特性に応じた都市機能の誘導を図り、それぞれ魅力的な拠点の形成を目指す。 ・田んぼアート駅周辺(市街化調整区域)については、垂柳遺跡などの歴史的資源や道の駅の拠点機能を活かした観光・レクリエーション拠点としての機能充実を図るとともに、イベント等の開催を通じて広域からの観光客の誘致に努め、交流人口の増加を図る。 ・隣接する弘前市と黒石市をはじめとした周辺自治体との連携については、都市機能を一方的に依存する関係ではなく、適切な機能分担を目指して、相互の連携強化を図る。 ・村役場周辺を防災拠点に位置付け、既存の避難所の充実に努めるとともに、川部市街地に新たな副次的な防災拠点の形成を検討する。</p>

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【生活を支える機能を川部駅周辺にコンパクトに集約し、賑わいのある魅力的な拠点を形成する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺の利便性を向上させ、新たな人の流れを生み出す。 ・新たなイベント利用や、地域住民の滞留及び美化保全等、魅力的な拠点整備を目指す。 	<p>【基幹事業】(高次都市施設) 観光交流センター(新築)</p> <p>【基幹事業】(地域生活基盤施設 緑地) 川部駅前緑地</p> <p>【基幹事業】(道路) 村道川部49号線(自歩道)、村道川部駅東口停車場線、村道川部駅東口線</p> <p>【基幹事業】(高質空間形成施設 歩行者支援施設) 駅東口バリアフリー対応公衆トイレ</p> <p>【基幹事業】(地域生活基盤施設 駐車場) 川部駅東口駐車場</p> <p>【基幹事業】(地域生活基盤施設 自転車駐車場) 川部駅東口自転車駐車場</p>
<p>【快適で安全に住み続けられる居住空間を形成し、市街地の人口密度維持を目指す】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東西間の通行を向上させる、観光交流及び住民間交流を生み出す。 ・既存都市公園である駅前児童公園と児童公園内の機能向上を目指す。 ・安全に住み続けられる居住空間を目指す。 	<p>【基幹事業】(高次都市施設) 観光交流センター(新築)</p> <p>【基幹事業】(公園) 川部児童公園(改修)、川部駅前児童公園(改修)</p> <p>【基幹事業】(地域生活基盤施設 地域防災施設) 耐震性貯水槽</p>
<p>その他</p>	
<p>【民間による住宅建設の動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在川部駅東側において操車場跡地の一部を活用した住宅地開発が計画されている。また、川部駅西側において民間業者による宅地開発が既に進められている。 <p>【まちづくりの住民参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、地区内には、道路環境の美化保全に携わっている団体があり、川部和泉松葉会は青森県道路愛護功労者表彰を受けている。 	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集集中支援事業)

様式(1)-④-1

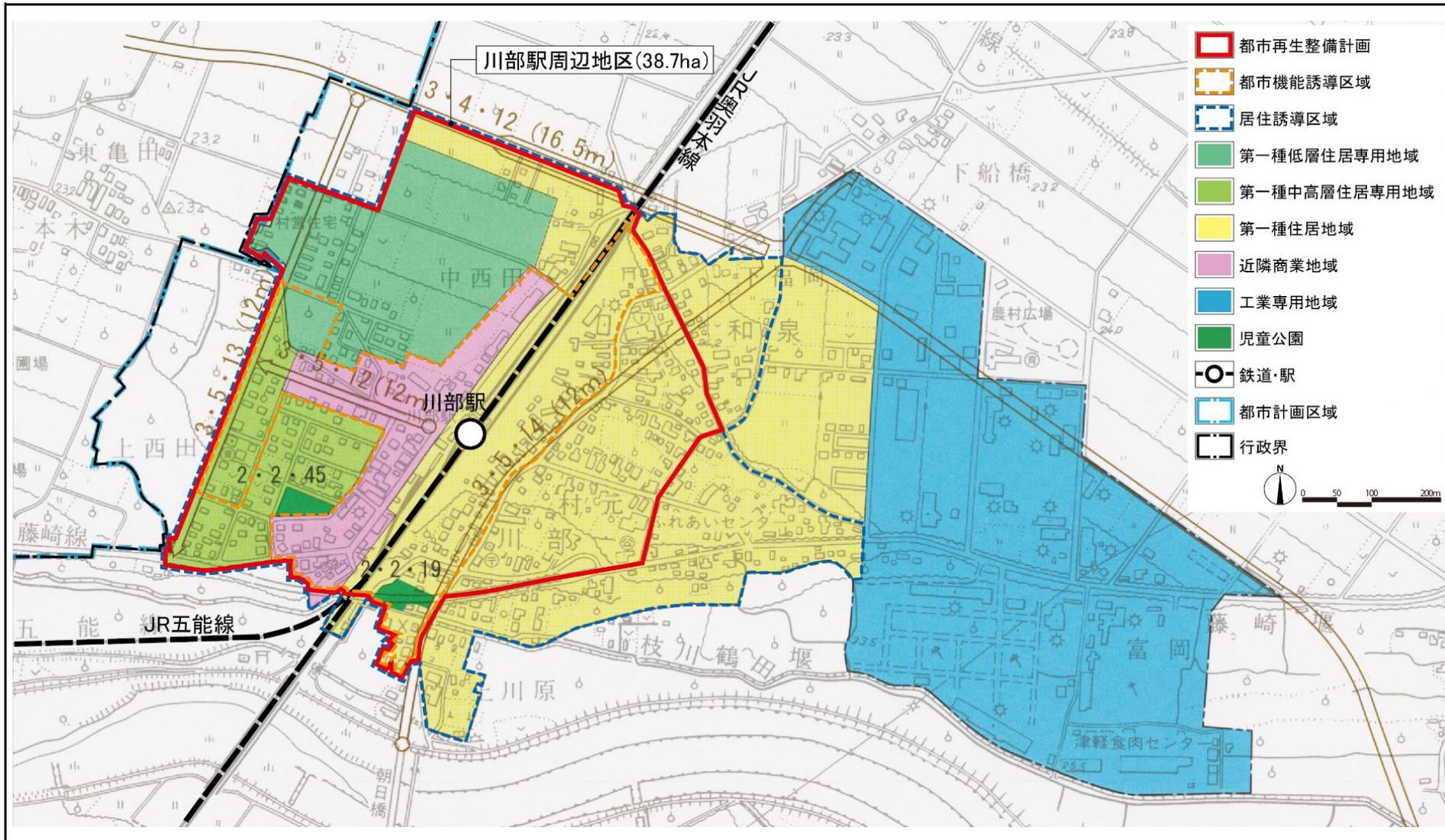
交付対象事業費	661.4	交付限度額	327.1	国費率	0.495
---------	-------	-------	-------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比B/C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
道路		村道川部49号線(自歩道)	田舎館村	直	50m	R5	R5	R5	R5	8.0	8.0	8.0	0.0	8.0	-
		村道川部駅東口停車場線	田舎館村	直	60m	R5	R5	R5	R5	15.2	15.2	15.2	0.0	15.2	-
		村道川部駅東口線	田舎館村	直	635m	R5	R6	R5	R6	320.2	320.2	320.2	0.0	320.2	-
公園		川部児童公園	田舎館村	直	2600㎡	R7	R8	R7	R8	82.0	82.0	82.0	0.0	82.0	-
		川部駅前児童公園	田舎館村	直	2300㎡	R8	R9	R8	R9	72.0	72.0	72.0	0.0	72.0	-
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設		川部駅前緑地	田舎館村	直	320㎡	R7	R7	R7	R7	5.0	5.0	5.0	0.0	5.0	
		川部駅東口駐車場	田舎館村	直	50台	R6	R6	R6	R6	12.0	12.0	12.0	0.0	3.0	
		川部駅東口自転車駐車場	田舎館村	直	80台	R6	R6	R6	R6	5.0	5.0	5.0	0.0	5.0	
		地域防災施設(耐震性貯水槽)	田舎館村	直	40t	R7	R7	R7	R7	10.0	10.0	10.0	0.0	10.0	
高質空間形成施設		駅東口バリアフリー対応公衆トイレ	田舎館村	直	25㎡	R5	R6	R5	R6	43.0	43.0	43.0	0.0	43.0	
高次都市施設	地域交流センター														
	観光交流センター	川部駅東口交流施設	田舎館村	直	92.4㎡	R5	R5	R5	R5	93.0	93.0	93.0	0.0	93.0	
	テレワーク拠点施設														
	子育て世代活動支援センター														
	複合交通センター														
誘導施設	医療施設														
	社会福祉施設														
	教育文化施設														
	子育て支援施設														
	元地の管理の適正化														
基幹的誘導施設															
既存建造物活用事業															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
復興促進事業															
エリア価値向上整備事業															
合計										665.4	665.4	665.4	0.0	656.4	

…A

川部駅周辺地区(青森県田舎館村)	面積	38.7 ha	区域	大字川部字上西田、大字川部字亀岡、大字川部字中西田、大字川部字村元、大字和泉字岡本の一部
------------------	----	---------	----	--



川部駅周辺地区(青森県田舎館村) 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)

目標	大目標:市街地の密度低下を防ぐ人口減少対策の推進 目標1:生活を支える機能を川部駅周辺にコンパクトに集約し、魅力的な拠点を形成する 目標2:快適で安全に住み続けられる居住空間を形成し、市街地の人口密度維持を目指す	代表的な指標	川部駅周辺の住宅着工件数 (世帯)	576	(R2) → 600 (R9)
			道路・公共交通の整備に対する利用者数等 (人/日)	570	(R1) → 600 (R9)
			周辺住民の満足度 (%)	77.8	(R2) → 80.0 (R9)

